

平成22年度 介護保険の福祉用具研修 開催要項

1. 目的

効果的な福祉用具の選定や活用方法、住宅改修の情報・知識手法などについて、研修を通して利用者個々のニーズに対応したサービスの提供が促進されるよう、介護支援専門員、在宅介護支援に携わる専門職員等の資質の向上を図ることを目的とする。

2. 実施主体

秋田県

3. 運営主体

財団法人 秋田県長寿社会振興財団（LL財団）
秋田県介護実習・普及センター

4. 会場

中央シルバーエリア 多目的ホール

5. 開催日時・受講対象者

平成22年10月21日（木）・22（金） （2日）

受付：9：00～ 開始9：30～16：30

≪対象≫介護支援専門員、福祉用具専門相談員、福祉用具の相談業務担当者、理学療法士、作業療法士、居宅サービス事業に従事している方、施設職員等

6. 募集人数 60名

7. 研修内容

別紙日程のとおり。

8. 履修証明書

履修証明書を発行します。

9. 研修費用

4,000円（資料代等） 2日間

10. 申込期間

平成22年8月24日（火）～9月10日（金）必着

11. 申込方法

- 1) 別紙申込用紙に必要事項を記入し、FAX または郵送でお送り下さい。
(※証明書に氏名・生年月日を記載するため、必ず本人が記入して下さい)
- 2) 受講可否通知をお送りいたします。受講当日、受付にお出し下さい。

12. 申し込み・問い合わせ先

〒010-1412 秋田市御所野下堤5丁目1番1号

(財)秋田県長寿社会振興財団(LL財団)

研修・相談課 福祉用具・住宅改修研修会担当 宛

TEL: 018-829-2777

FAX: 018-829-2770

☆ 講師紹介

市川 洌 (いちかわ きよし)

[福祉技術研究所株式会社代表取締役]

長野県出身。早稲田大学理工学部を卒業後、東京都福祉機器総合センターで福祉機器の開発研究に関する第一人者として活躍。『リフトの市川』の異名を持つ。(義手、リフト、車椅子、環境制御装置の開発など) 30年にわたり、リハエンジニアの役割を担ってきた。平成13年4月からは福祉技術研究所を設立、個別の相談援助業務を基本に執筆活動(著書多数)特養の介護現場や企業の製品開発等にも精力的に関わる。全国各地の研修会に引っ張り尻の超人気者。クールな技術者の視点と、現場で培った障害者や高齢者支援の理念は人間くさく、非常に明快。用具の使用技術指導は「なぜそうするのか」科学的に裏付けされて、わかり易い。講義や実技では「目から鱗が落ちる」感覚が味わえる。

介護保険の福祉用具研修会 日程

平成22年10月21日（木） 福祉用具の適切な選定と有効活用のために 会場：中央シルバーエリア 多目的ホール 講師：福祉技術研究所株式会社 代表取締役 市川 洌 氏（リハエンジニア）	
9:00～9:30	受 付
9:30～9:40	開講挨拶・講師紹介
9:40～12:30	《講義》 ・福祉用具の基本 ・生活を支える福祉用具とは ・適切な福祉用具選びのポイント ・起居・移乗・移動を踏まえた用具の選定 ・なぜ福祉用具個別援助計画が必要なのか？ ・個別援助計画とモニタリングシートの考え方とポイント
12:30～13:30	昼食・休憩
13:30～16:15	《講義&実技》 【起居・移動・移乗】 ・ベッドと周辺機器 ・各品目の概要と機能 ・導入と適合のポイント ・座位移乗の特徴 ・移乗用具、車いすの機能 ・スライディングボードとスライディングシートの使い方
16:15～16:30	質疑応答

平成22年10月22日（金） 福祉用具個別援助計画の必要性 ～サービスの質の向上と専門性を高めるために～ 会場：中央シルバーエリア 多目的ホール 講師：福祉技術研究所株式会社 代表取締役 市川 洌 氏（リハエンジニア）	
9:00～9:30	受 付
9:30～12:30	《グループ演習》～困難・失敗・成功事例から学ぶ～ ・個別援助計画の作成とモニタリングシートの作成（グループ演習）
12:30～13:30	昼食・休憩
13:30～16:15	《グループ演習》～困難・失敗・成功事例から学ぶ～ ・個別援助計画の検証
16:15～16:30	質疑応答

※日程等は変更になる場合もありますのでご了承下さい。

